

## 道後温泉と道後温泉本館

3000年の歴史を持ち、日本最古の温泉ともいわれる道後温泉。古くから大勢の文人墨客に愛され、神話の時代の大国主命、斉明天皇や聖徳太子をはじめとした皇室の方々、万葉歌人の山部赤人、正岡子規、夏目漱石といった文化人など、実に多くの来訪が記録に残っています。明治27年(1894)に改築された道後温泉本館は、平成26年に改築120年を迎えた歴史的な建物で、平成6年には公衆浴場として初めて国の重要文化財に指定されるなど、国内外から評価されています。

### 【道後温泉の湯】

アルカリ性単純泉の湯質は、きめ細やかな日本人の肌に優しいなめらかなお湯で、刺激が少なく、湯治や美容に適しています。18本の源泉から汲み上げられる源泉は20度から55度の温度で、源泉と源泉を混ぜ合わせることで42度程度の適温にしており、加温や加水をしないうえ、源泉の効果を十分に感じることができます。

### 【神の湯】

石造りの浴室に砥部焼の陶板画が飾られ、大きな円柱形の「湯釜」と呼ばれる湯口が鎮座する浴槽は道後温泉本館の独特な雰囲気を作り出しています。



### 【霊の湯】

神の湯に比べこじんまりしていますが、花崗岩の中でも最高級といわれる庵治石や大島石を使った浴槽に、壁面には大理石を使用するなど、高級感あふれる浴室になっています。



神の湯2階席

霊の湯2階席

霊の湯3階個室

## 道後までのアクセス

### 松山空港から／

松山空港リムジンバス道後温泉駅行きで約40分

### JR松山駅から／

伊予鉄道電停JR松山駅前より伊予鉄道市内電車道後温泉行きで約25分

### 松山市駅から／

伊予鉄道電停松山市駅より伊予鉄道市内電車道後温泉行きで約20分

### 松山観光港から／

松山観光港リムジンバス道後温泉駅行きで約43分

### 三津浜港から／

三津港から伊予鉄バス三津吉田線で約35分  
松山市駅から伊予鉄道市内電車道後温泉行きに乗り換え、約20分



### 旅の記念にこちらも・・・



熟田津の道にある道後郵便局では道後温泉本館の風景消印を行っています。道後郵便局に直接持ち込み、係員に風景消印の希望を申し出るか、本館入口郵便物預かり箱でもお預かりします。いずれも切手を貼ってください。本館でのお預かりは消印日付が郵便局の翌営業日以降となります。

### 道後温泉事務所

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町5-6 TEL (089) 921-5141  
ホームページ <http://www.city.matsuyama.ehime.jp>

### 旅のことなら

#### ■松山市観光・国際交流課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町4-7-2 TEL (089) 948-6556

#### ■(公財)松山観光コンベンション協会

〒790-0004 愛媛県松山市大街道三丁目2-46  
松山城ロープウェイ東雲口駅舎2F TEL (089) 935-7511

残したい日本の音風景100選  
美しい日本の歴史的風土100選

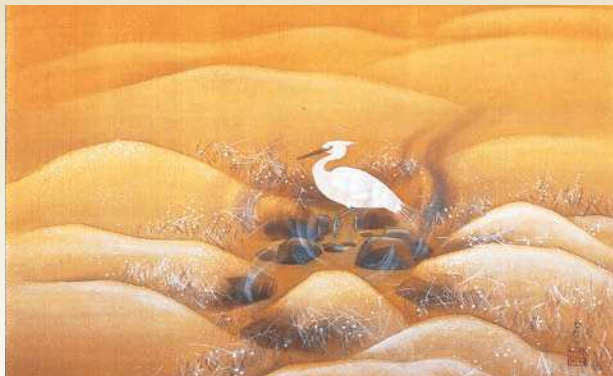
いしづきと城と文学のまち 四国・松山

国指定重要文化財

道後温泉本館



## 道後温泉の歴史



### 白鷺の伝説

「伝云、古此湯少し湧出して洪澁たり、鷺の足かたはなるが、常々来りて足を浸す、幾程となく平癒したり、故に此所を鷺谷と云」 宝永7年(1710)に完成した郷土地誌「予陽群郷里謠集」には、道後温泉は白鷺により発見せられ、人々がその靈験を知って入浴するようになったと伝わります。白鷺は道後温泉本館の塔屋の上や、正面玄関のランプなど本館の様々なところにモチーフとして残り、その伝説は今も人々により語り継がれています。



**玉の石** / 伊予国風土記逸文には、大國主命と少彦名命が伊予の国に来た際、重病にかかった少彦名命を大國主命が掌にのせて道後温泉の湯であたためたところ、たちまち元気になり、石の上で踊ったと記されています。その石は「玉の石」と呼ばれ本館北側に保存されています。



**一遍上人と湯釜** / 道後の宝蔵寺に生まれた時宗の開祖である一遍上人は、正応1年(1288)、河野道有の依頼で、湯釜の宝珠に「南無阿弥陀仏」の六字の名号を書いたと伝えられています。この湯釜は今も残っており、湯釜薬師として道後公園にまつられています。



**聖徳太子と湯の岡の碑文** / 法興6年(596)、道後に訪れた聖徳太子は明媚な風光と良質の温泉を推賞せられ、これを記念するために、湯の岡に温泉の碑を建立されたと伝わります。当時は椿が美しく生い茂り、霊妙な温泉が平等に恩沢をほどこす様はまるで寿国のようなだとたたえています。



**熟田津の歌** / 「熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今はこぎいでな」は斉明天皇率いる船団が出港するにあたり、額田王が作った歌といわれています。道後には斉明天皇のほか、舒明天皇、中大兄皇子など、皇室の方々の記録が多数残っています。

## 伊佐庭如矢の偉業



明治22年の町村制実施により、道後湯之町の初代町長に就任した伊佐庭如矢。老朽化した道後温泉の湯屋を改築する際、莫大な費用をかけることに反対する住民を「100年後までも他所が真似できないものを作ってこそ、初めて物をいう」と説得し、今の道後温泉本館の礎を築きました。その他、松山城の廃城阻止にも携わるなど、現在の松山市のまちづくりに大きな影響を与えた伊佐庭如矢の偉業をご紹介します。



### 松山城の廃城阻止

明治6年、政府の廃城令により松山城は取り壊される危機にさらされました。県の官吏をしていた如矢は城を救うために、松山城の公園化を訴えて、道理のかきりを尽くした請願書を起草。その結果、松山城の公園化が認められ破棄荒廃をまぬかれました。



### 道後温泉の興隆

如矢が町長に就任した頃、道後温泉の建物は老朽化がすすんでいました。養生湯の改築にはじまり、本湯(神の湯)の改築、霊の湯、又新殿の竣工まで10年ほどかけて築き上げ、現在のような壮麗な三層楼の建物を作りました。こうして道後温泉の興隆をもたらしたのです。



### 道後公園の整備

道後公園は、元來中世伊予の守護・河野氏の居城でしたが、廃城となり、明治になっても荒れ果てたまま竹藪や雑木が生い茂っていました。愛媛県と協力しながら、ここに樂山を築いて植栽を施し、園路をめぐらせて内濠に橋を架けるなど、入浴客の散策の場になるよう整備しました。



### 道後鉄道の建設

松山市と県外からの入浴客誘致のために鉄道の必要性を唱えて、松山市街と道後を結ぶ鉄道の敷設を計画。当時、伊予鉄道が開業していましたが、道後まで伸びていなかったのです。明治26年道後鉄道を設立、明治28年に一番町～道後間、道後～三津口間の運行が始まりました。

## 坊っちゃん道後温泉

夏目金之助、後の夏目漱石が松山中学の英語教師としてこの松山の地を踏んだのは道後温泉本館が改築された翌年、明治28年4月9日。それから1か月、友人にあてた手紙の中で「道後温泉はよほど立派なる建物にて、八銭出すと三階に上り、茶を飲み、菓子を食べ、湯に入れば頭まで石鹸で洗ってくれるというような始末、随分結構に御座候」と書き送っています。漱石は、病氣静養のため帰省していた正岡子規と50日余り同居生活し、子規や高浜虚子とも道後温泉に出かけています。道すがら交わした文学論や、神仙体の俳句は、英語教師・夏目金之助から文豪・夏目漱石へ変身する発端となります。



### 坊っちゃんの間

昭和41年、夏目漱石の娘婿である文人・松岡譲氏により命名された「坊っちゃんの間」。3階北西に位置するこの部屋を訪ねれば、夏目漱石が通った頃の面影を今でも味わうことができます。



「温泉は三階の新築で、上等は浴衣をかけて、流しをつけて八銭で済む。其上に女が天目へ茶を載せて出す。おれはいつでも上等へ入った。」  
現在も休憩室では応接員が天目台へお茶を載せて、おもてなしをしています。

「深さは立って乳の辺までであるから、運動のために、湯の中を泳ぐのはなかなか愉快だ。おれは人の居ないのを見済しては十五疊の湯壺を泳ぎ巡って喜んでた。ところがある日三階から威勢よく下りて今日も泳げるかなとぞくろ口を覗いてみると、大きな札へ黒々と湯の中で泳ぐべからずとかいて貼りつけてある。」神の湯男性の浴室にはこのエピソードから、「坊っちゃん泳ぐべからず」の貼り札がされています。



「おれはここへ来てから、毎日住田の温泉へ行く事に極めている。ほかの所は何を見ても東京の足元にも及ばないが温泉だけは立派なものだ。せっかくなら来たから毎日はいってやろうという気で、晩飯前に運動かたがた出掛る。ところが行くときは必ず西洋手拭の大きな奴をぶら下げて行く。この手拭が湯に染った上へ、赤い縞が流れ出したのでちょっと見ると紅色に見える。」今でも貸タオルや販売用タオルが赤色なのは、この一節が由来となっています。

# 道後温泉本館のご案内

## 4通りの入浴コースから選ぼう

「霊の湯」と「神の湯」の2つの浴室、そして個室や広間の休憩室との組み合わせから、4つの入浴コースをご用意しています。

コースを決めたら、玄関口にある札場で入浴券を購入し、本館の中へお進み下さい。



**振鷲閣と刻太鼓**(残したい日本の音風景100選)  
本館三層楼の屋上にある振鷲閣は、和風建築に一段と趣を添えています。周囲の窓は赤いギヤマンガラスをはめた障子で、夜になると赤々と光り、湯の町の夜空に異彩を放っています。また天井から吊り下げられた太鼓は、時刻を告げる刻太鼓として、朝6時に6回、正午に12回、夕方6時に6回の1日3回打ち鳴らされ、温泉情緒を醸し出しています。



神の湯2階席

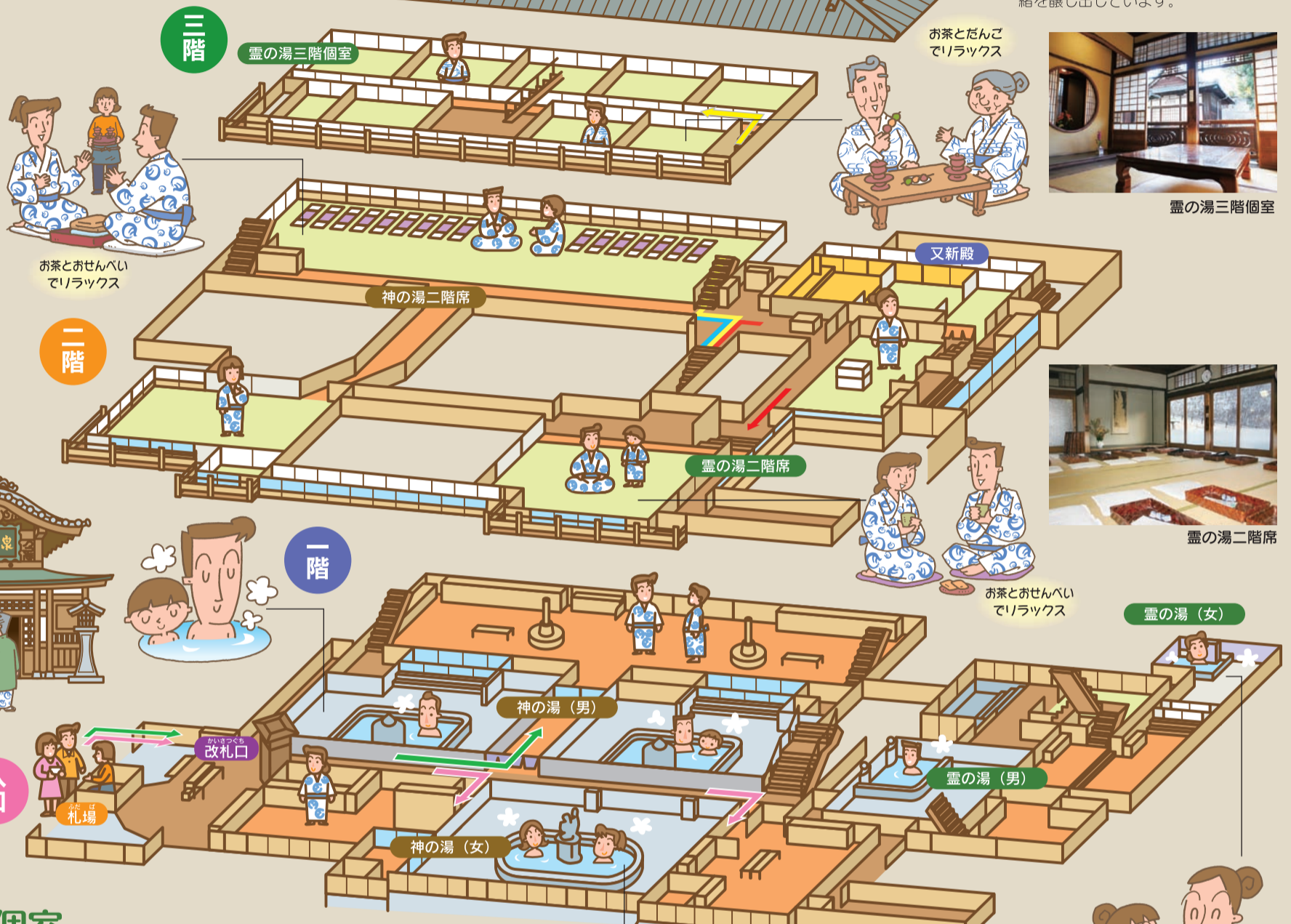


神の湯男子浴室

朝6時、刻太鼓を合図に営業開始



ここで入浴券を買おう



霊の湯三階個室



霊の湯二階席



霊の湯(女)

### 霊の湯三階個室 (6~22時 札止20時40分)

セット内容 霊の湯 神の湯 貸浴衣 貸タオル お茶 坊っちゃん団子 又新殿観覧

■大人1550円 小人770円(利用時間1時間20分)

霊の湯・神の湯の2つの浴室への入浴に個室の休憩室がついたコース。改札口をすぎたら、まずは3階の休憩室へ。3階の部屋はかつて「上等」と呼ばれ、坊っちゃんの一節にも「俺はいつでも上等へ入った」と出てきます。お風呂上りに個室でゆっくりとくつろげる人気のコースです。

### 霊の湯二階席 (6~22時 札止21時)

セット内容 霊の湯 神の湯 貸浴衣 貸タオル お茶 おせんべい 又新殿観覧

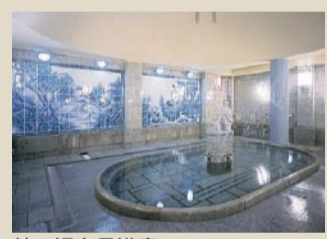
■大人1250円 小人620円(利用時間1時間)

霊の湯・神の湯の2つの浴室への入浴に、広間の休憩室がついたコース。改札口をすぎたら、2階の赤い敷物に沿って、奥にある休憩室へ。大正時代に建てられた棟にある休憩室は白鷺をモチーフにしたランプが吊り下げられ、歴史ある建物の中にモダンな雰囲気を感じることができます。

### 又新殿 (6~21時30分 札止21時)

■大人260円 小人130円

明治32年(1899)に建てられた又新殿は、日本で唯一の皇室専用浴室。桃山時代の様式を模して造られた建物は絢爛・豪華、そして優美さを誇る造りとなっています。木材、石材とも上質な材料を使用し、金箔や襷絵に目を奪われますが、障子の組子に変化を持たせたり、天井板の張り方を市松模様にするなど、細かく丁寧な仕事は当時の職人の自負を感じることができます。



神の湯女子浴室



霊の湯男子浴室

### 神の湯二階席 (6~22時 札止21時)

セット内容 神の湯 貸浴衣 お茶 おせんべい

■大人840円 小人420円(利用時間1時間)

神の湯の入浴に、55畳の大広間での休憩がついたコース。改札口をすぎたら、2階の青い敷物に沿ってすぐの大広間へ。雑誌などでもよく取り上げられる大広間は開放感があり、6月から9月の間は障子を外してすだれが掛けられ、さらに開放的な気分を味わうことができます。最大80人程度が利用できるため、団体の方もご利用いただきやすいコースです。

### 神の湯 階下 (6~23時、札止22時30分)

セット内容 神の湯

■大人410円 小人160円(利用時間1時間)

神の湯の入浴のみのコース。改札口をすぎたら、1階すぐにある男女それぞれの脱衣室へ。昔から地元の方に愛されている道後温泉本館は、毎日のお風呂に入りに来られるお客様もいらっしゃいます。銭湯感覚でお風呂だけ楽しみたいという方はこちらのコースを。

《一口メモ》  
二・三階の霊の湯・神の湯席では、砥部焼(愛媛県伊予郡砥部町)の茶碗に輪島塗の天目台で、お茶とお茶菓子などがセットになります。

《旅の記念に》  
オリジナル浴衣 (S~L) 3900円 (3L~Lw) 4900円  
バスタオル 1000円  
道後温泉本館うちわ 大400円・小200円  
浴用タオル(石けん小付) 220円  
木はかき 500円  
みかん石けん 大190円・小40円  
タオルはんかち 350円



#### 道後温泉本館施設利用料

区分	大人 (12歳以上)	小人 (2~12歳 又新殿のみ)	営業時間	利用時間	
霊の湯	3階個室	1,550円	770円	6:00~22:00 (札止め20:40)	1時間20分以内
	2階席	1,250	620	6:00~22:00 (札止め21:00)	1時間以内
神の湯	2階席	840	420	6:00~22:00 (札止め21:00)	1時間以内
	階下	410	160	6:00~23:00 (札止め22:30)	1時間以内
又新殿観覧	260	130	6:00~21:30 (札止め21:00)	案内時間内	
椿の湯	400	150	6:30~23:00 (札止め22:30)	1時間以内	